

10. 茨城県教育研究連盟との連携活動

「茨城県教育研究連盟」は、茨城大学、茨城県教育会、茨城県教育研究会、茨城県教職員組合など教育関係諸団体によって組織されたている。茨城県の教育実践・研究の活性化・深化・発展のため、年1回の研究集会開催を軸に、教育実践に関わる諸情報の収集・蓄積等の諸活動を行ってきた。茨城大学教育学部長が連盟の「会長」を務め、全学教職センター長が「事務局長」を務めている。本年度の活動は以下の通りである。

- 第1回幹事会 令和6年5月13日（月）
 - ・令和5年度事業・会計決算報告、令和6年度事業計画、予算案審議 等
- 第1回評議員会 令和6年5月27日（月）
 - ・同上
- （学内）研究集会助言者の推薦
 - ・各分科会の助言者を教育学部教員から選出、推薦
- 研究集会助言者・司会者打合せ会 令和6年10月2日（水）
 - ・「研究討議資料」の作成、研究集会当日の運営について協議 等
- 第69回研究集会 令和6年11月16日（土）
- 研究集会助言者打合せ会 令和7年1月23日（木）
 - ・研究集会の総括、次期「研究推進資料」の作成について 等
- 第2回幹事会 令和7年2月3日（月）
 - ・令和6年度事業報告、令和7年度事業計画 等
- 第2回評議員会 令和7年2月10日（月）
 - ・同上

上記の諸会議は全てオンライン（ZOOM）によって行われ、また研究集会も昨年度より引き続きオンライン開催となった。昨年度の研究集会修了後に行った参加者アンケートでは、対面開催を希望する声もあったが、オンラインにより参加に移動を必要とせず参加しやすい、開催が天候や感染症流行等に左右されない、などの声が多かったためである。

茨城大学から教育学部教員が21の分科会それぞれにおいて助言者を務めた。参加人数は約340名で、昨年度よりやや増加した。発表者の実践報告に基づき、それぞれの分科会で参加者・司会者・助言者が議論を取り交わし、日々の教育実践を見直す機会となった。